

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院血液内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

2011年1月1日～2018年12月31日の間に、造血器疾患のために虎の門病院血液科に入院・通院し、肺炎に対して胸腔鏡下肺切除術を行った後に同種造血細胞移植を受けられた方

### 【研究課題名】

治療抵抗性の限局性肺炎に対して胸腔鏡下肺切除術を施行後に同種造血細胞移植を行った症例の解析

### 【研究の目的・背景】

#### 《目的》

治療抵抗性の限局性肺炎に対して胸腔鏡下肺切除後に同種造血細胞移植を行った症例を解析し、移植前の肺炎病巣切除の安全性と有効性について検討することを目的とします。

#### 《研究に至る背景》

治療抵抗性の肺炎を持っている患者さんで、その病巣が肺の一部に限局している場合に外科的切除が検討されることがあります。一方で、造血器疾患を同種造血細胞移植で治療する場合、移植治療前の肺炎は移植治療の大きな妨げになります。そのため、移植前に発症した肺炎の病巣が肺の一部に限局している場合、理論上は移植治療前に限局性肺炎の外科的切除を行い、感染症のコントロール後に同種造血細胞移植を行えば良いと考えられますが、実際にそのようにして移植治療を行った症例の報告は極めて限られます。したがって、本研究から得られる結果は、移植前に治療抵抗性の限局性肺炎を持っている患者さんにも移植治療を提供できる可能性を示す重要な情報になると考えられます。

### 【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2020年3月4日～2025年3月31日

### 【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院・血液内科・谷口 修一のもと研究成果発表後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

該当しません。

【利用する診療情報】

診療情報：診療記録、薬歴、画像データ

【虎の門病院における研究責任者】

血液内科・高木 伸介

【利用する者の範囲】

共同研究機関：なし

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2020年6月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 血液内科・高木 伸介

電話 03-3588-1111(代表)